

2024年4月5日
イオンリテール株式会社

“働き方改革” 店舗業務を一貫してサポートする仕組みが完成 A I を活用した店舗DXのさらなる進化について 従業員はより“生き生き”と、店舗はより“あたたかみ”を感じる場所へ

イオンリテールは今春、A Iによる「ワークスケジュール自動作成機能」と「新・販売計画支援システム」を実装します。^{※1}この2つのシステムが加わることにより、当社における店舗業務を一貫してサポートする仕組みが完成します。



新・販売計画支援システム 活用イメージ

このたび実装する「ワークスケジュール自動作成機能」は、2022年に実装した「A Iワーク」の機能拡張として、A I学習により各従業員の時間帯ごとの作業割り当てを自動化します。従業員の勤務シフトやスキル、時間帯ごとに必要とされる業務内容などに基づき、“瞬時に”“自動で”“抜け漏れなく”作業割り当てを行います。既に導入している一部の部門では、ワークスケジュールの作成時間について半減～8割減の効果が出ています。

また、「新・販売計画支援システム」では、販売計画の作成を半自動化し、作成時間が導入前の8分の1に短縮されるほか、タブレット端末で計画の確認や編集ができるようになり、現場確認を含めた進捗管理や従業員同士のコミュニケーションがよりいっそう円滑になります。

これにより、当社が2020年以降に実装したシステムで創出できる人時は年間約200万人時（当社試算）^{※2}となります。固定業務を削減した分、接客や売場での創意工夫など、お客さま満足に直結する業務が増えることで、各店舗が提供する価値も高まります。

イオンリテールは、当社の従業員がそれぞれのスキルを発揮し生き生きと働くことで、店舗がよりあたたかみを感じる場所となるよう、今後もさまざまな取り組みを進めてまいります。

【概要】

■実装スケジュール

ワークスケジュール自動作成機能：2024年4月21日（日）より店舗の全部門で実装^{※1}

新・販売計画支援システム：今春（2024年春）実装予定

■展開店舗

「イオン」「イオンスタイル」など約360店舗

※1：食品の部門は2023年8月より先行実装。

※2：各種A Iシステムと「新・販売計画支援システム」の試算を合計した数値。

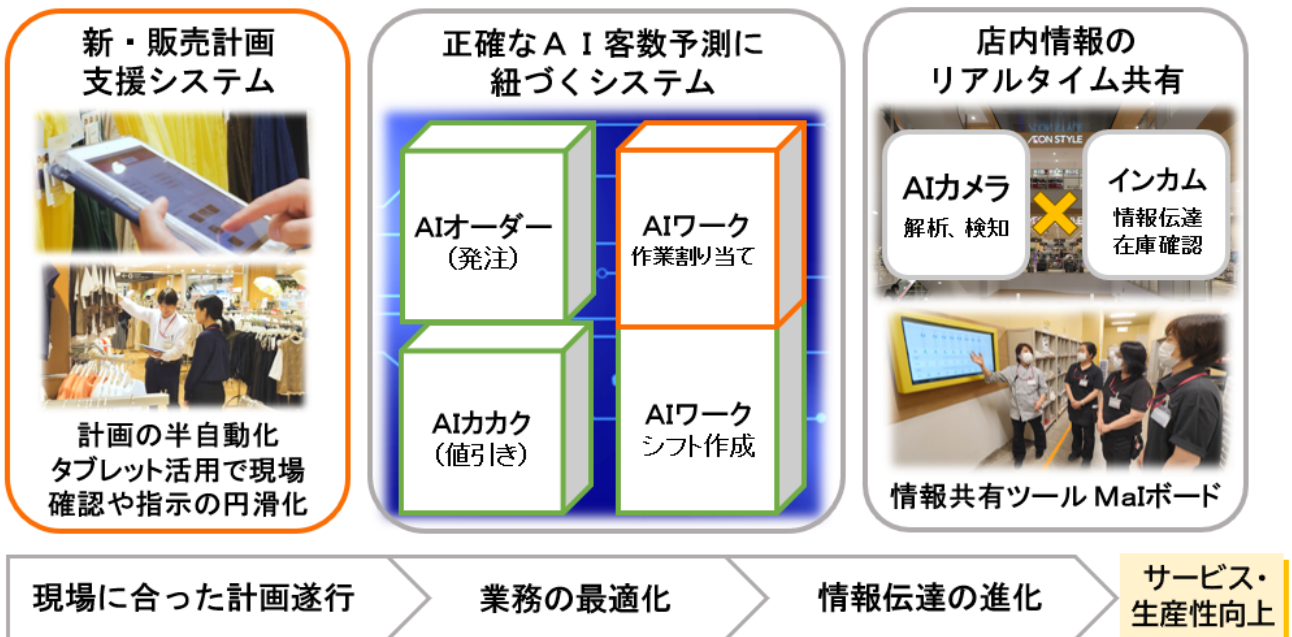
【A I を活用した店舗D X イメージ】

イオンリテールの店舗D Xは、お客さまの負を解消し、サービスを向上させることを目的としています。これまで、シフト作成や発注、値引き業務に対しA Iを取り入れたところ、精度が高まり固定業務が削減されただけでなく、A Iの提案をベースにもう一段、精度を高める考え方が生まれる、改善活動へのモチベーションが高まるなど、さまざまな効果が出ています。

D Xを省人化のためではなく、当社の約12万人の従業員がそれぞれの能力を十分に発揮し生き生きと働くための取り組みと位置づけ、店舗の価値をよりいっそう高めてまいります。



**固定業務に縛られない、
個々のスキルを発揮する職場へ**



店舗業務支援システム全体の模式図（橙色枠を新たに実装）